

地001	項目名	人材誘致・定住促進対策事業費	
予算書項目	総合企画費	ページ	23
年度	H28		
所属名	企画推進部地域振興局 地域振興課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】移住定住促進係 0857-20-3184		
款 総務費	【10次総の施策体系】3201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	各種情報の収集・発信機能を強化するとともに、相談者へのきめ細かで親身になった対応をしていくため、平成18年9月に「定住促進・Uターン専任相談窓口」を開設し、12月から「定住促進・Uターン専任相談員」を1名配置。その後増員し、現在4名体制としている。併せて、平成24年12月から首都圏・関西圏にそれぞれ1名ずつの相談員を配置。また、平成28年1月10日に移住・交流情報ガーデンを設置し、移住定住コンシェルジュを3名配置し、合計9名の相談員で移住定住人口の増加を図っている。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
補正前額	49,200	移住(U・J・Iターン)希望者に対し、就業・生活・住宅等の情報提供や相談受付を行い、「選ばれるまち、住みたいまち」となるよう、より総合的・戦略的に移住定住促進の取組を強化・加速化させる。	
要求額	14,911	また、ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡会と連携しながら、移住定住者の増加により本市の活性化・持続的発展を図る。	
総務部長段階査定額	12,480	【事業の内容】	
市長段階査定額	12,480	・本市出身力士である石浦関(宮城野部屋)を鳥取市シーセールススペシャルサポーターに任命し、本市への移住定住促進を目的とした「SUMO!鳥取市キャンペーン」として婚活ツアーや広報を実施する。(3,380千円)	
区分	補正額	・東日本大震災以降に、激甚災害指定地域からの避難者が定住の目的で市内に住宅を建設・購入・改修する場合や、空き家バンクの登録家屋内の家財道具を処分する場合に、その費用の一部を助成する制度を創設する。(3,000千円)	
財源内訳		・「鳥取市へようこそようこそ奨励金」の交付件数が見込みを上回ったことによる増額補正を行う。(6,100千円)	
国・県支出金	1,500	【事業の実績】	
地方債	0	1. 窓口対応延べ件数 25年度1,211件 26年度1,442件 27年度1,429件	
その他	0	2. 窓口相談登録世帯数 25年度383世帯 26年度489世帯 27年度484世帯	
一般財源	10,980	3. 窓口移住者数 25年度160世帯288人 26年度200世帯351人 27年度178世帯326人	
計	12,480		
行財政改革課処理欄			

地002	項目名	中山間地域・地域活性化支援事業費	
予算書項目	地域振興対策費	ページ	23
年度	H28		
所属名	企画推進部地域振興局 地域振興課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】振興係 0857-20-3185		
款 総務費	【10次総の施策体系】3202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	鳥取県みんなで支え合う中山間地域総合支援事業を活用し、住民団体等の空き店舗等改修による中山間地域の活性化活動を支援する。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
補正前額	0	地域の伝統文化の伝承や都市部との交流、空き店舗や古民家等の改修等により地域の誇りを再生・発展させる活動を支援し、中山間地域の活性化を図ることを目的とする。	
要求額	700	(補助金交付) 補助率 1/2(県1/3、市1/6) 補助金上限 4,500千円(ハード)	
総務部長段階査定額	700	【事業の内容】	
市長段階査定額	700	県の中山間地域・地域活性化支援事業補助金を活用し、空き店舗活用事業(まちなら交流のためのギャラリー展示スペースの整備)に対し支援する。 青谷町青谷地区(駅前) 1件	
区分	補正額	【事業の実績】	
財源内訳		平成24年度実績 1件 2,850千円 しかの心改修	
国・県支出金	466		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	234		
計	700		
行財政改革課処理欄			